

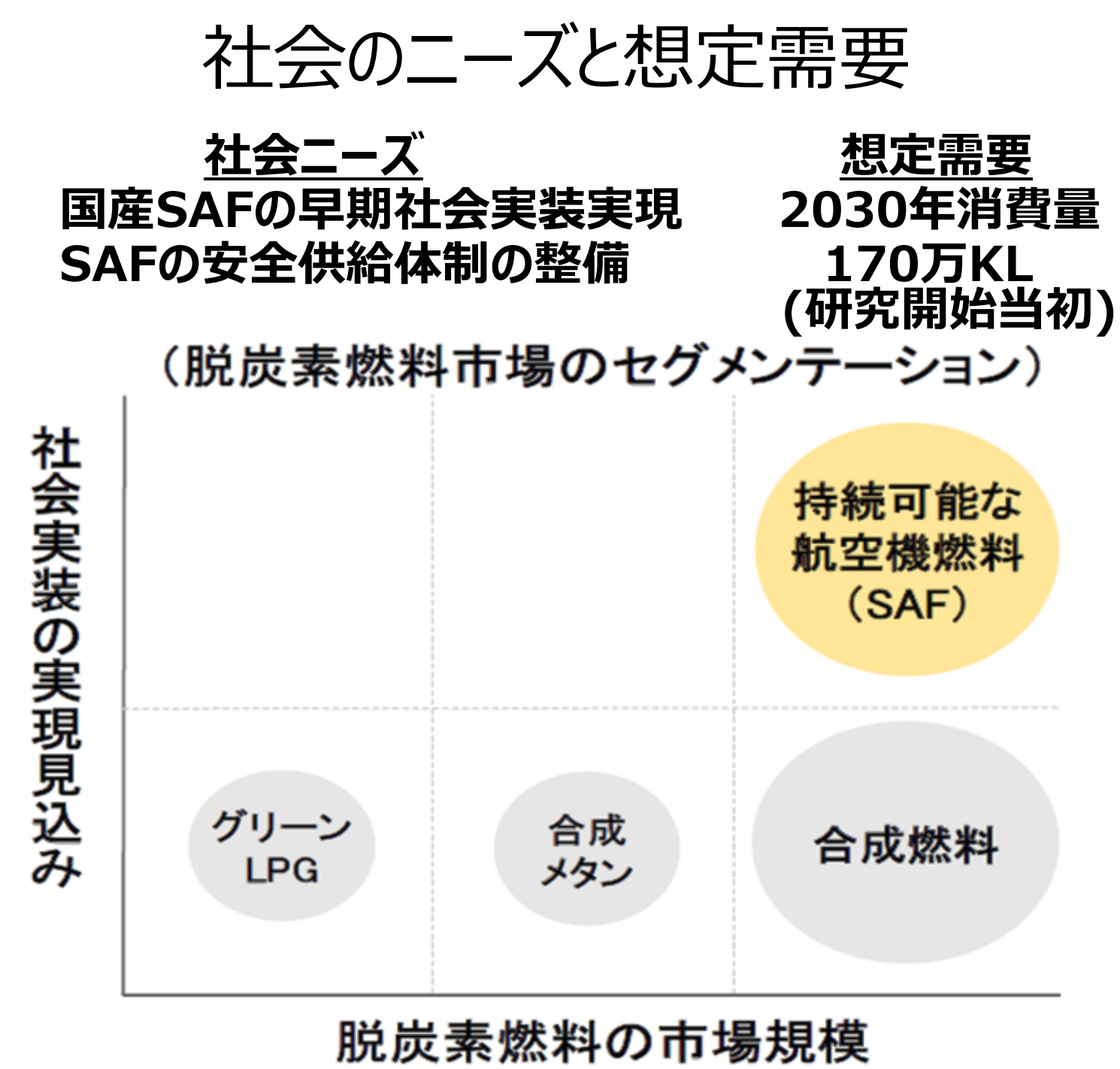
グリーンイノベーション基金事業／CO₂等を用いた燃料製造技術開発／持続可能な航空燃料（SAF）製造に係る技術開発 最先端のATJ（Alcohol to Jet）プロセス技術を用いたATJ実証設備の開発と展開

団体名：出光興産株式会社
発表日：2026年7月21日

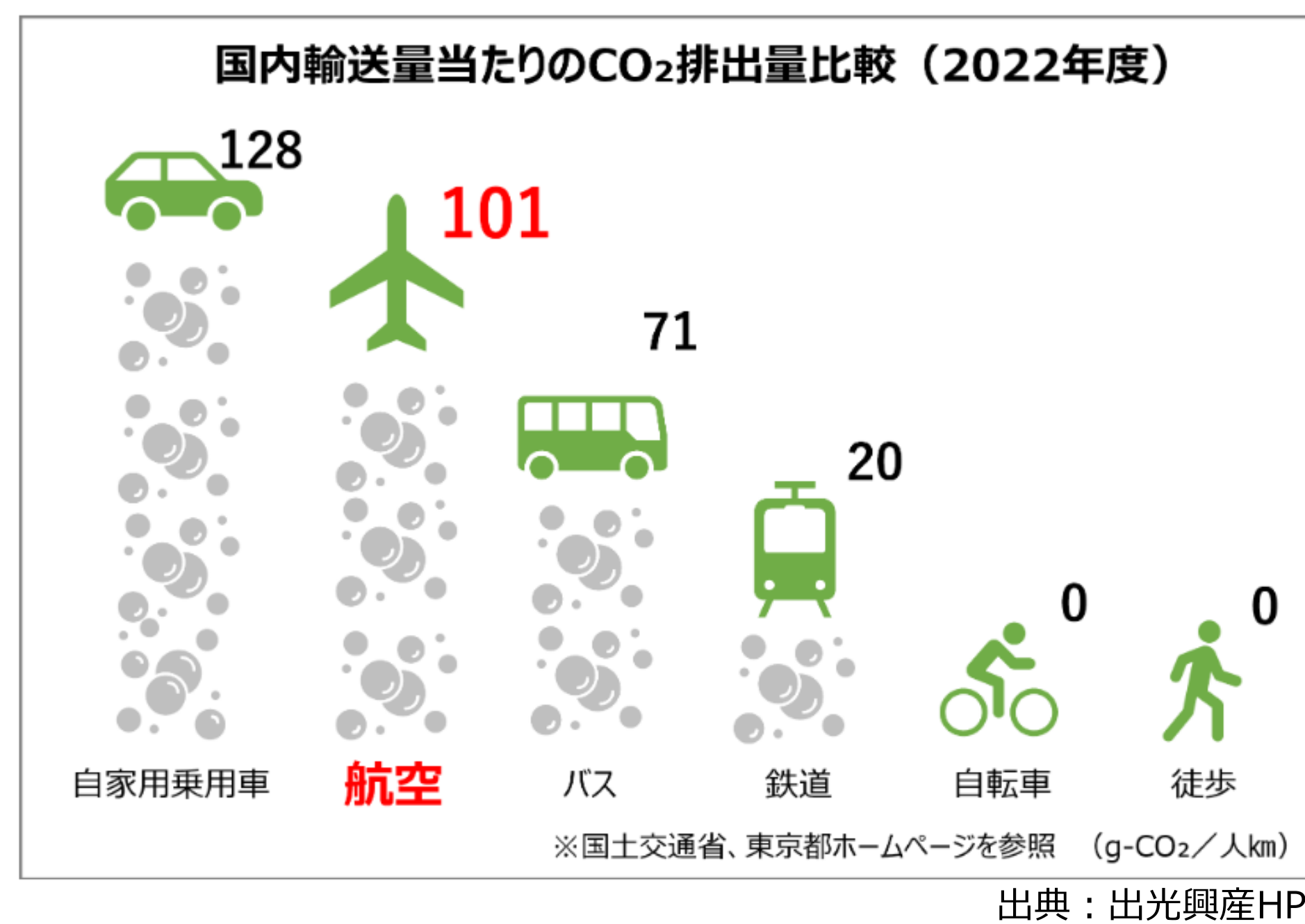
■事業目標 高収率かつ競争力ある価格でニートSAF※₁を年間10万KL安定的に生産し 航空燃料として供給する

※₁ SAF(Sustainable Aviation Fuel):持続可能なJET燃料,ニートSAF:バイオマス原料等を基に製造されたJET燃料

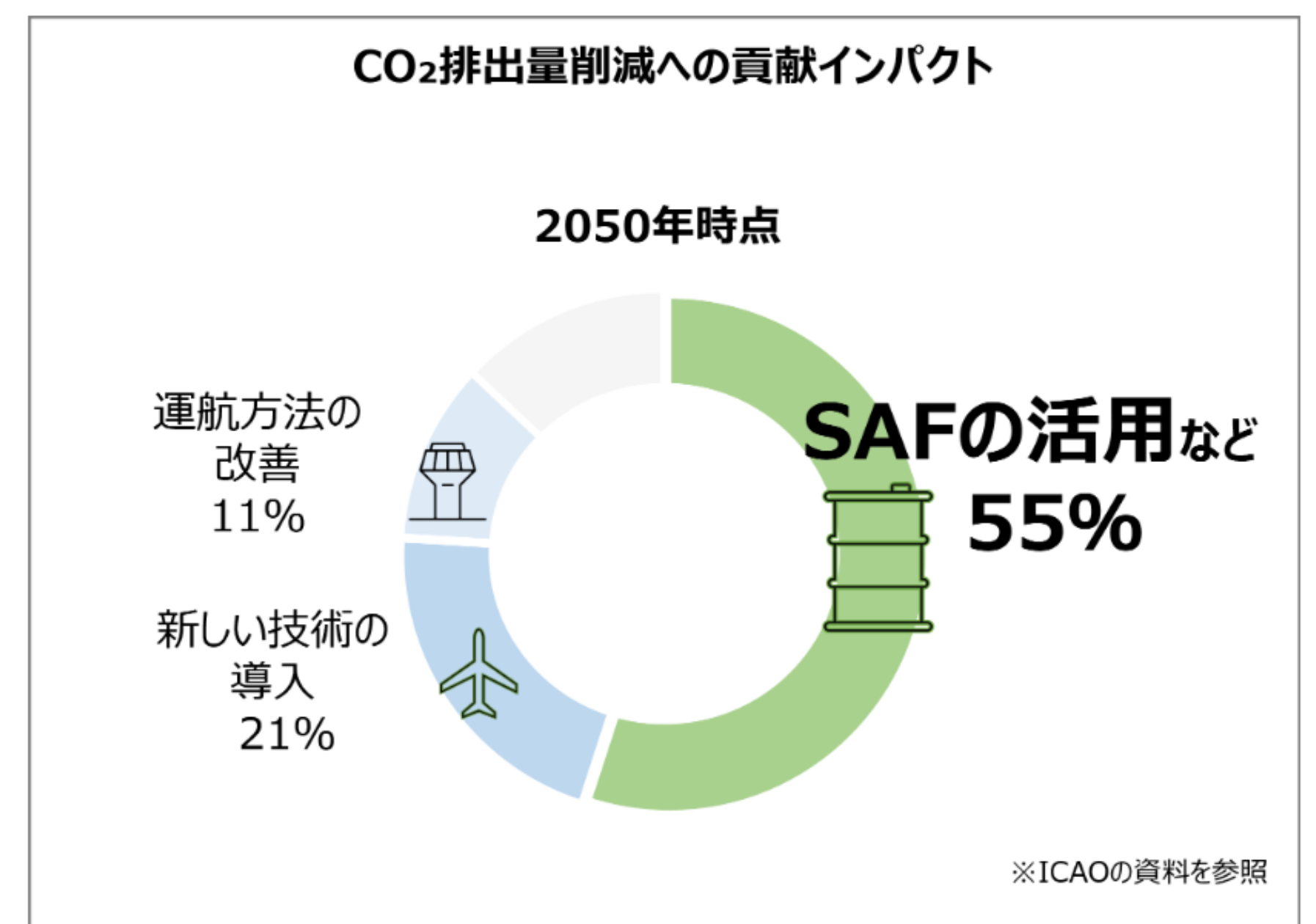
SAF事業の社会ニーズ



輸送分野における航空機のCo₂排出量



SAFの活用が未来の空を創る

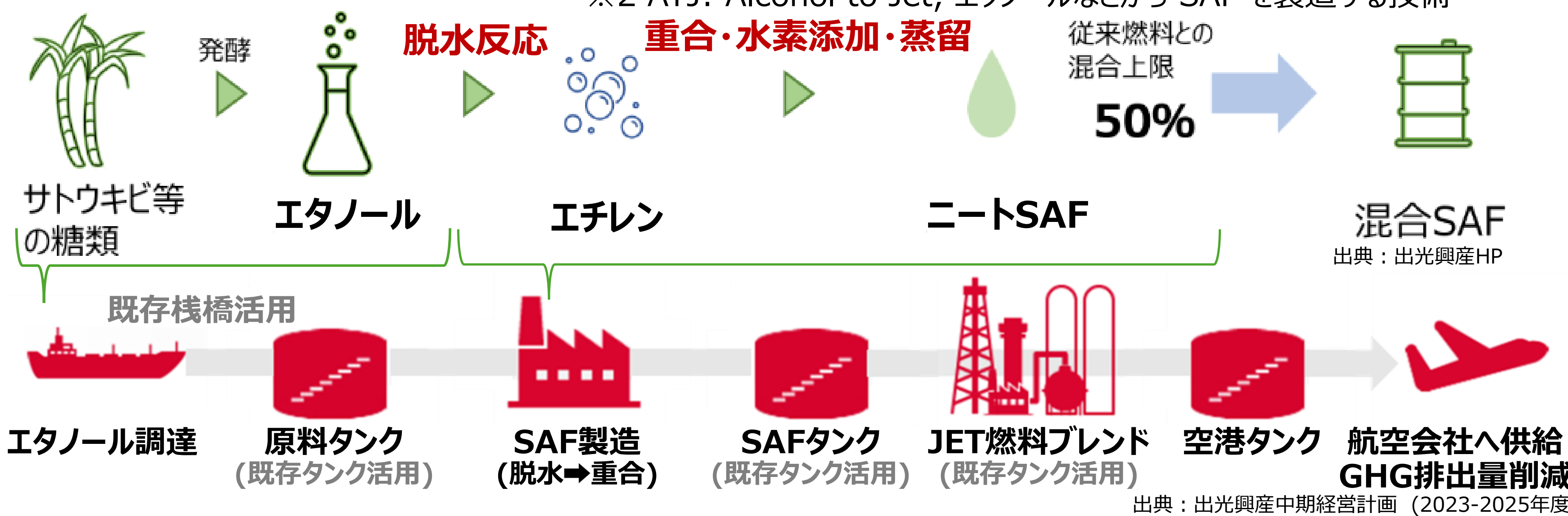


出典：出光興産HP

https://www.idemitsu.com/jp/business/oil/lowcarbon/saf_future.htm

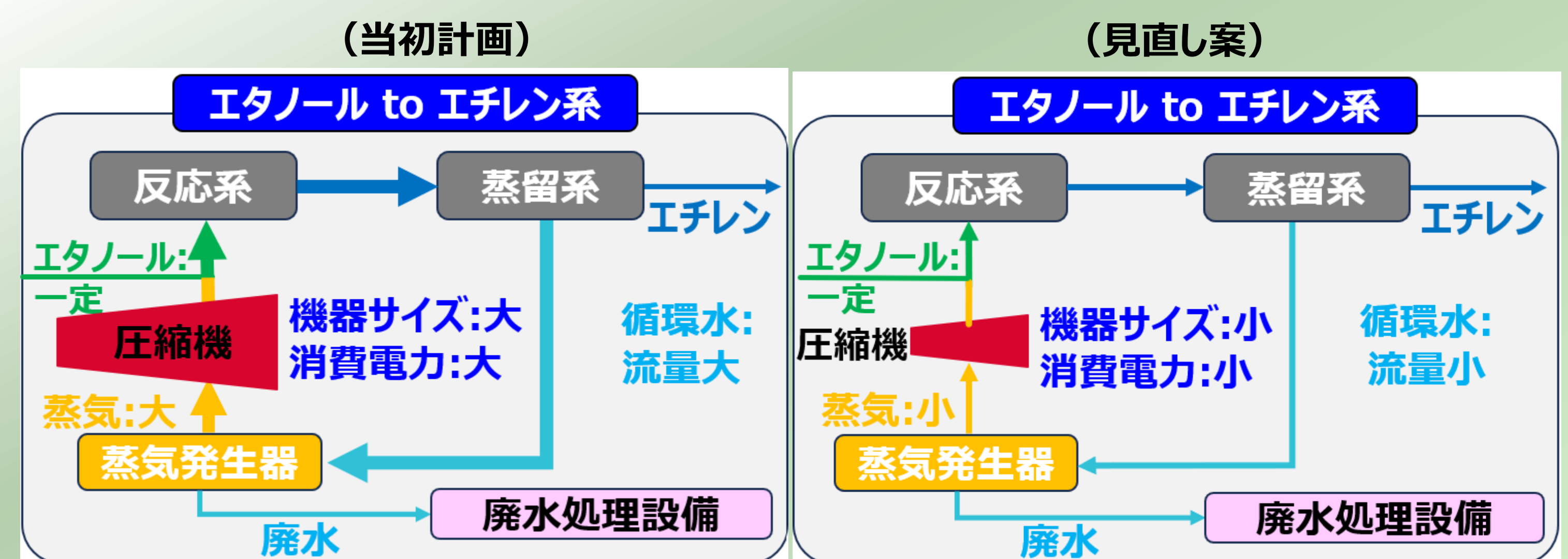
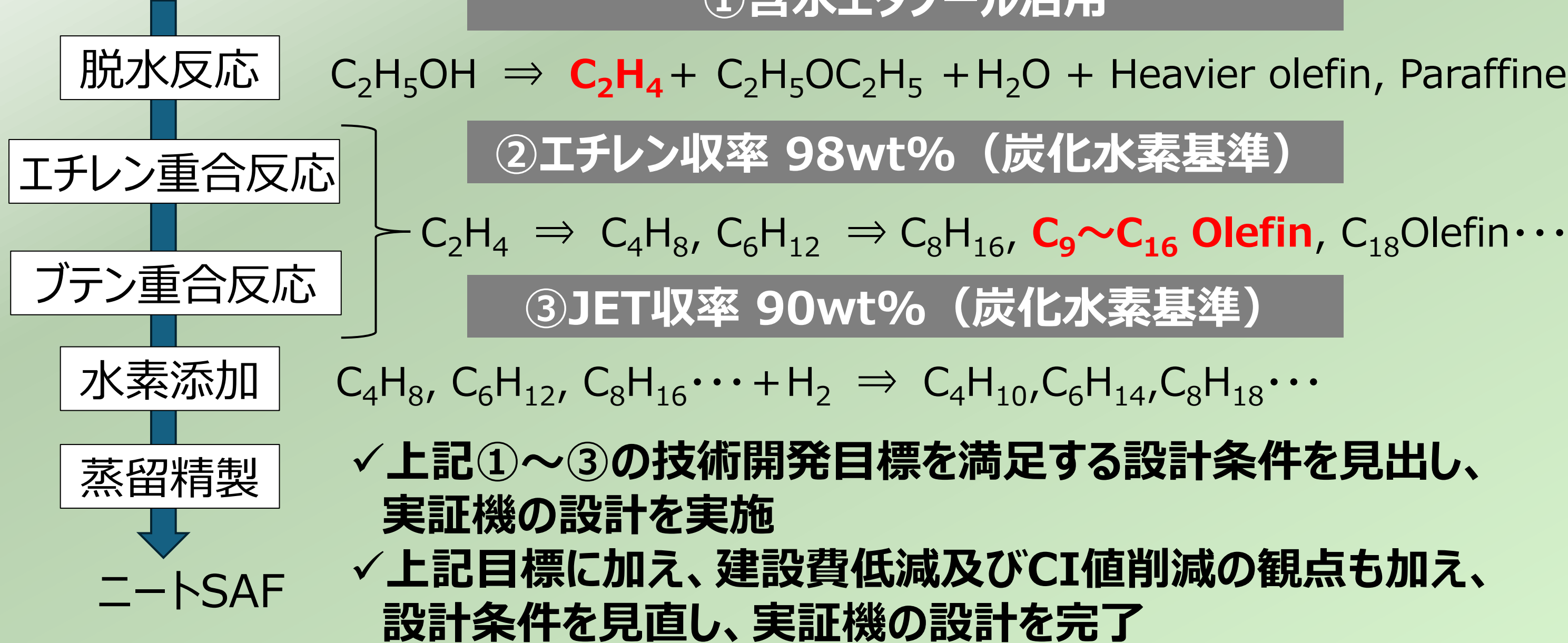
ATJ※₂開発技術と既存インフラを活用したSAF一貫管理体制の構築

※₂ ATJ: Alcohol to Jet, エタノールなどから SAF を製造する技術



■2025年の主な成果

バイオエタノール



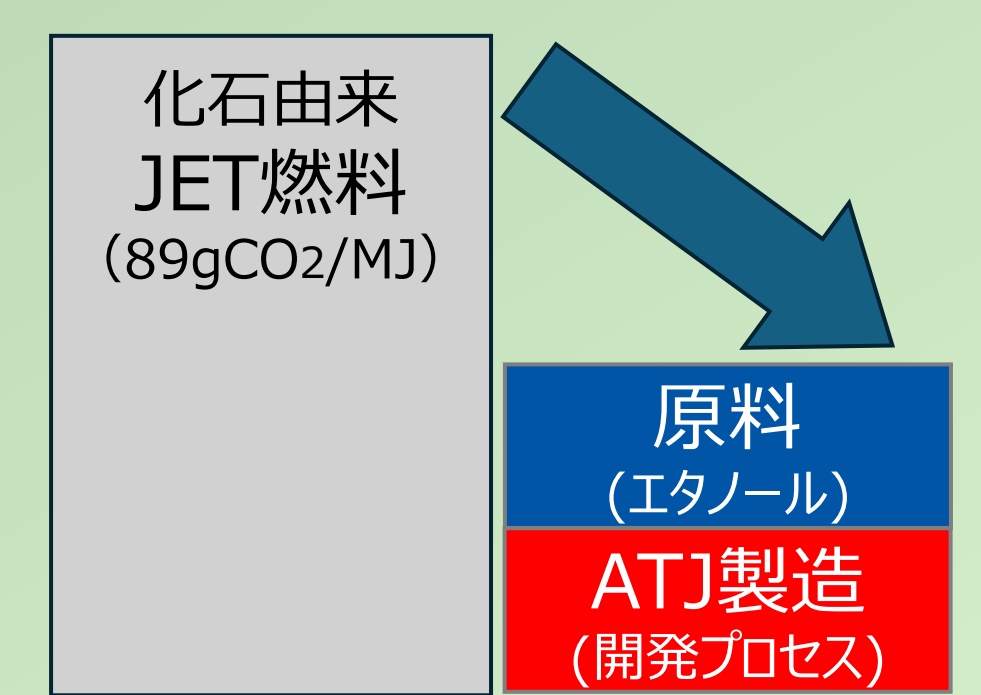
- ✓要求性能を満たすエタノール希釈率の低下プロセス条件を追加実験で確認
- ✓当初計画から、機器の小型化によるCapexとOpexの双方の抑制に期待
- ➡本検討でGHG削減率:約2%の改善に寄与(年間約2.5億円の電力代削減に相当)

SAFとして使用するために「CORSIA適格燃料※₃の認証」が必要

- ➡ 製造・混合・貯蔵設備ならびに原料調達～SAF販売に必要な認証を取得



●JET燃料に対するCI値の占める割合（イメージ図）

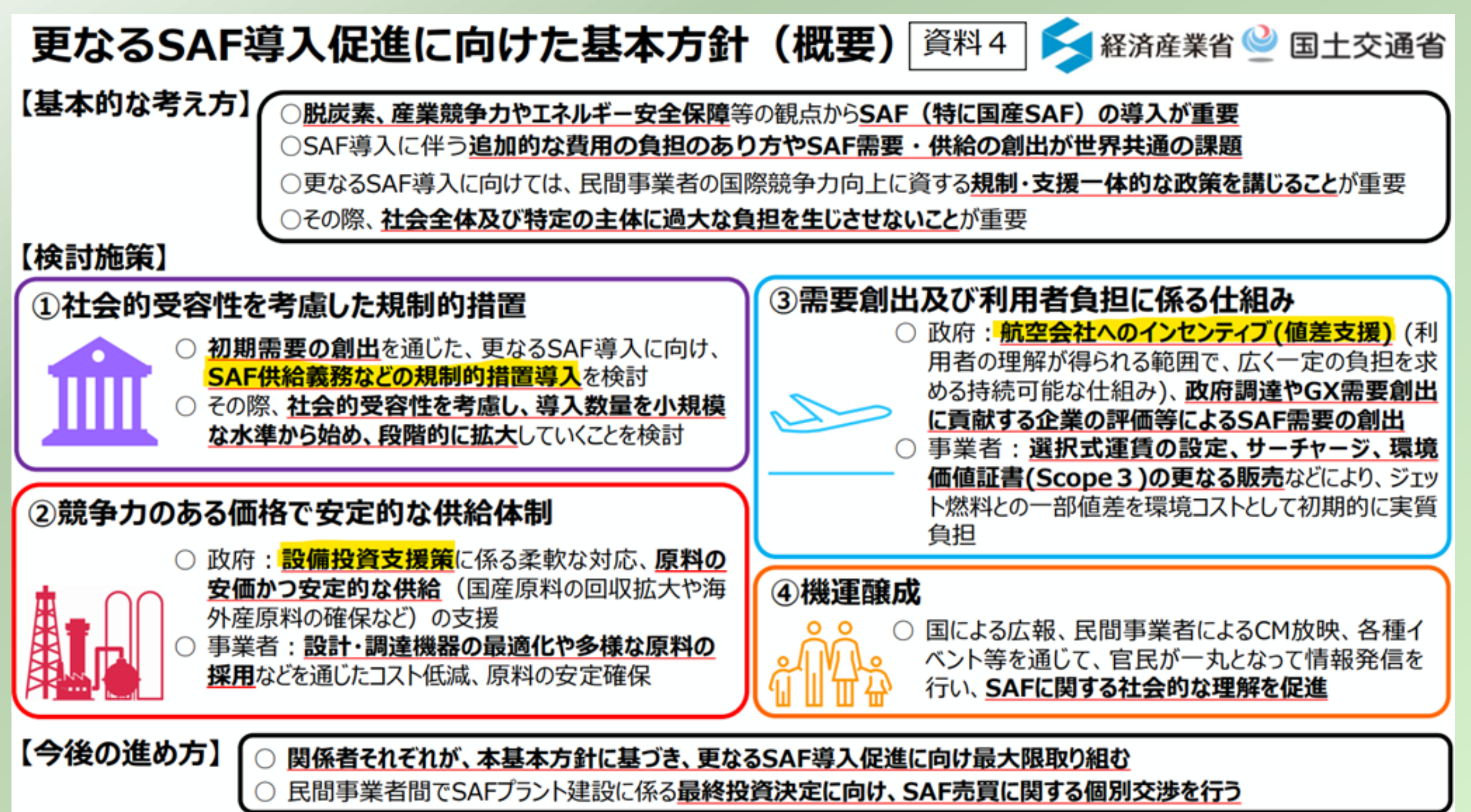


出典：ISCC HP <https://iscc-system.org/certification/all-certificates/>

※₃ CORSIA適格燃料:国際民間航空機関(ICAO)が定めるCORSIA制度に基づき、ライフサイクル温室効果ガス排出削減基準および持続可能性基準を満たし、CORSIAにおける排出削減量として認証・計上が認められる航空燃料

官民協議会での議論、関連会議体への参画

- ➡ SAF導入促進に資する政策議論を促進



2026/1/28 SAF官民協議会資料

■事業化への見通し

- ✓SAFの社会実装に向けては、航空会社とのオフテイク契約および価格差を踏まえた制度整備（規制的措置・SAF導入インセンティブ制度）が重要な事業化課題
- ✓2026年度は政策動向を踏まえつつ、実証設備建設フェーズへの移行およびSAFサプライチェーン構築に向けた取り組みを推進

出光興産株式会社 豊津 和宏

連絡先：https://www.idemitsu.com/jp/contact/other_flow/index.html